



# 橙の里

DAIDAI NO SATO

多賀小学校だより No.10

令和7年1月31日

電話 68-2105

校訓「夢は大きく  
はばたけ多賀っ子」

学校教育目標 「考えを伝え合おう みんなのためにやってみよう」

やってみよう

なんとかなる

ありがとう

ありのまま

## 考えを伝え合い相手を理解する

3学期が始まり、約1ヶ月が経ちました。どの学年も今年度の経験を振り返り、次につなげるまとめに入ってきています。4月に初めて出会ったあどけない顔が、日々の学習や行事での経験、地域学習や外部講師の方から学ぶことを通して、どの子も自信がみなぎるたくましい表情に変わってきていると感じます。

日々の授業の中では、様々な子どものあらわれを見ることができます。緊張して恥ずかしがりながら話す子、自分の思いを生き生きとした表情で伝える子、途中でわからなくなって困っている子、じっくり考えていて考えがまとまっていない子、、、いろいろな子どもがいて当たり前です。様々な考えをもつ子どもたちがいるおかげで授業は深まっています。自分の伝えたいことがうまく相手に伝わらない時、聞いている子どもたちは「それってどういうこと?」「ちょっとわからない」と相手の意見を理解しようとしています。大人の説明には首をかしげる子も、「ああ、そうか」「わかったそういうことね」「なるほど」と友人が話す子どもの言葉で理解していくこともあります。伝えたいことは似ていても、その子なりの思いを自分の言葉で伝えようとする素敵な場面です。教師は子どものファシリテーターとして関わりながら、友達の意見をじっくり聴いて反応し、そこに自分の考えを重ねあわせ、関係づけたり整理したりする力を授業の中で育てています。考えを伝え合い、違う考えであってもその良さや違いを認め合い相手を理解していくことは、これからの社会で活躍する時に必要な力となってきます。授業参観の際は、そんな場面も見ていただけたら幸いです。

【教頭 北澤 里美】

## 《6年 総合的学習「夢や目標を叶えよう」ゲストティーチャーをお招きしました!》

6年部では、子どもたち一人一人が自分の将来の夢に向けて、「今、どう生きていったらよいか」を考えていけるように、いろいろな職業の方をゲストティーチャーに招いて学習を進めています。その一環として、1月16日「おうちの人から学ぼう」と、保護者の方5名、本校栄養教諭の1名を加え計6名を講師に招き、仕事への向き合い方や職業観・人生観のお話にふれることができました。仕事のやりがいや大変さを知り、「あきらめなくて挑戦し続けたい」「夢は決まっていなくても責任をもってやるのが大切」など、仕事の魅力や夢をかなえるためのヒントを学びました。お忙しい中、ご協力をありがとうございました。



柴田さん



椎野さん



平井さん



大須賀さん



東山さん